



平成 25 年
第 1 回 定例会が
開会されました。

代表質問を行う
西村たかゆき議員

代表質問

この定例会では、本会議、4つの常任委員会の他、予算特別委員会が設置され、平成25年度予算の審議がなされました。
また、会派を代表して西村たかゆき議員が山崎区長に対して代表質問を行いました。

子ども・子育て支援を
一歩前へ

子ども・子育て支援については区の最重要施策の一つに位置付けられており、その充実が求められているが、待機児童の問題に象徴される多くの課題も抱えています。そのような中、今回の質問では量の拡大のみならず、質の向上についても含め、幅広い視点から山崎区長の子ども・子育て支援に向けての基本姿勢や意気込みを問いました。

産業振興
施策を
一歩前へ

墨田区は言うまでもなく、ものづくりのまち、中小企業のまちとして発展してきました。しかしながら長引く不況や産業構造の転換等で、区内企業には厳しい状況が続いています。その一方で、若手産業人を中心に今までになかった新しい動きも出てきています。
このような現状のもと産業振興マスタープランの基本理念を確認し、今後の施策展開を問いました。

産業支援施策について

【質問の主な内容】

- *今回作成された産業振興マスタープラン(注1)の基本的な考え方について
- *フロンティアすみだ塾(注2)等の産業人の育成・連携事業の成果について
- *中小企業センターのあり方について
- *産学官連携事業の今後のあり方について
- *「すみだまち処」からの区内回遊促進施策について

注1 産業振興マスタープラン

今後の墨田区の産業振興に関するトータルプラン。今回、経済環境や産業構造の変化、また東京スカイツリーの開業等の地域環境の変化を踏まえて改訂された。

注2 フロンティアすみだ塾

墨田区や関係機関、区内中小企業経営者などで組織する「すみだ次世代経営研究協議会」が、後継者や若手経営者の方を対象に展開している私塾形式のビジネススクール。中小企業の事業を継承し、次代を担う経営者を育成しています。

子ども・子育て支援について

【質問の主な内容】

- *保育士不足の現状認識と区としての改善策について
- *保育・子育てニーズに即した施設の有効活用について
- *保育士の資質向上や保・幼・小の滑らかな連携について
- *児童相談所の区への早期移管について

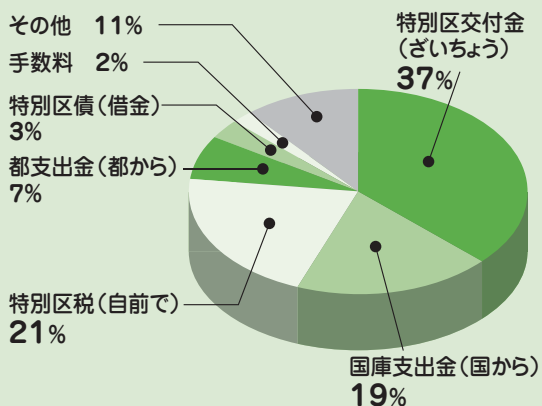
予算についての豆知識

豆知識

①

予算 1,008 億円
お金はどこから?

平成25年度の墨田区の一般会計予算では、およそ1008億円が計上されています。さて、このお金はいったいどこから来るのでしょうか？収入の内訳を見てみましょう。



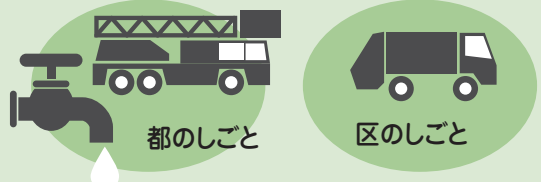
豆知識

②

45%対55%
特別区交付金のなぜ?

一番多い特別区交付金は、本当は区の税金ですが、一旦、都が集めて再分配しています。財源は、3つの税金(固定資産税、市町村民税(法人分)、特別土地保有税)です。45%を都が、残りの55%を23区に分配しています。「都区財政調整制度」(通称ざいちょう)という制度で、一見、便利な制度に見えますが、課題もいろいろあります。

「ホントに55対45が妥当なの?」、「もっと、区に権限と財源を渡した方がいいんじゃないの?」これは23区ができて以来の課題でした。



豆知識

③

経常収支比率 90%
墨田区の財政は健全?

これを判断するのが、経常収支比率(人件費・扶助費・公債費などの経常的経費にどのくらい一般財源が使われているか)。

墨田区は90%を超えています(理想は70~80%、23区平均は80%ちょっと超えたあたり)。逆に言えば、自由に使えるお金が少ないということでもあります。

- 人件費
- 扶助費(生活保護など社会福祉にかかる経費)
- 公債費(借金の返済)などに使うお金=90%

